

2017年3月10日

各 位

株式会社電通国際情報サービス

ISiD、オープンイノベーションラボに コミュニケーション・ディレクター佐藤尚之(さとなお)氏を招聘 ～「ニーズ」視点のサービス開発を強化、先進テクノロジーによる社会課題解決を加速～

株式会社電通国際情報サービス(本社:東京都港区、代表取締役社長:釜井 節生、以下 ISiD)のオープンイノベーションラボ(以下イノラボ)は、コミュニケーション・デザインの第一人者として知られ、「さとなお」の通称で幅広い活動を展開するコミュニケーション・ディレクター佐藤尚之氏を、このほど新たにコラボレーションパートナーとして迎えました。

イノラボは、2011年4月の発足以来、先進テクノロジーをビジネスや暮らしに役立つサービスとして展開することをミッションに、様々な実証実験やプロトタイプ開発に取り組んできました。現在当社が推進する中期経営計画においては、2020年以降を見据えた新たなビジネス創造の中核的役割を担い、「地方創生」「スポーツ体験」などの分野におけるサービス開発を進めています。テクノロジーが社会全体を大きく変えつつある現在、これらの分野で新たなサービス創出に取り組む上で、イノラボは“いまここにあるテクノロジーで、社会に何を提供できるか”という「シーズ」視点に加えて、“いまここにある社会課題に応えるために、テクノロジーをどう使うか”という「ニーズ」視点を強化し、より伝わるユーザーコミュニケーションを推進するために佐藤氏を招聘しました。

佐藤氏は、広告コミュニケーションに留まらない幅広い領域において、「本当に伝わるコミュニケーション」「本当に届くサービス」を具現化してきたことで知られ、東日本大震災の翌日に始動した官民連携の情報サイト「助けあいジャパン」立上げをはじめとする復興支援活動や、全国各地の自治体・団体との連携による地域活性化プロジェクトなども数多く手掛けてきました。イノラボは、同氏をコラボレーションパートナーに迎えることにより、「人々が本当に必要とするサービスを、その手に届けるために、テクノロジーをどう使うべきか」という視点に立ち、より具体的な社会課題の解決に向けたサービス開発を加速してまいります。

3月11日、12日の二日間、ISiD、東京国立博物館、クウジツ株式会社の共同研究プロジェクトの一環として「トーハク×アイデアソン」を開催し、「訪日外国人の記憶に残る日本文化体験」をテーマに、外国人やICTクリエイターによる企画会議を佐藤氏のファシリテーションで実施します。

■佐藤尚之(さとなお)氏 プロフィール■



コミュニケーション・ディレクター。(株)ツナグ代表。(株)4th 代表。独立行政法人「国際交流基金」理事。復興庁政策参与。公益社団法人「助けあいジャパン」代表理事。大阪芸術大学客員教授。東京大学大学院非常勤講師。上智大学非常勤講師。朝日広告賞審査員。やってみなはれ佐治敬三賞審査員。

1961年東京生まれ。1985年(株)電通入社。コピーライター、CMプランナー、ウェブ・ディレクターを経て、コミュニケーション・デザイナーとしてキャンペーン全体を構築する仕事に従事。2011年に独立し(株)ツナグ設立。

■オープンイノベーションラボについて■

ISiD が 2011 年 4 月に設置したオープンイノベーション研究所(現オープンイノベーションラボ)は、様々な先端技術の実用化に向けて、企業や教育機関などと協働し、技術研究やサービス開発に取り組んでいます。2015 年からは、新設組織「2020 テクノロジー&ビジネス開発室」の中核として、「街づくり」「観光」「映像」など、都市計画やエンタテインメントに関連する領域を中心に、2020 年とそれ以降に向けた新たなソリューションの創出に取り組んでいます。<http://innolab.jp>

■「トーハク×アイデアソン」概要■

主催：東京国立博物館、株式会社電通国際情報サービス、クウジツ株式会社

<アイデアソン>

訪日外国人の記憶に残る日本文化体験 —ICT は博物館で何ができるか？—
 日時：2017 年 3 月 11 日(土) 9:30 ~ 18:00 12 日(日) 9:30 ~ 16:20
 会場：東京国立博物館 本館地下 みどりのライオン 教育普及スペース
 審査員：サツシャ氏(ラジオ DJ、フリーアナウンサー)、橋本麻里氏(ライター、エディター、永青文庫副館長)、暦本純一氏(東京大学情報学環教授)、松本伸之氏(東京国立博物館副館長)

詳細：http://www.tnm.jp/modules/r_event/index.php?controller=dtl&cid=5&id=8897

※アイデアソンへの応募は締め切りました。

<トークショー>

世界にシェアしたくなる「トーハク×ニッポン体験」
 日時：2017 年 3 月 12 日(日) 12:30 ~ 16:20(開場 12:00)※アイデアソンのプレゼン、講評を含む。また途中休憩(30分)を予定。
 会場：東京国立博物館 平成館大講堂(当日自由参加・事前申込不要)
 詳細：http://www.tnm.jp/modules/r_event/index.php?controller=dtl&cid=5&id=8896

※本アイデアソン・トークショーは、ISiD が東京国立博物館、クウジツ株式会社とともに取り組んでいる「トーハクなび共同研究プロジェクト」の一環として実施されます。



<電通国際情報サービス(ISiD) 会社概要>

社名 : 株式会社電通国際情報サービス(略称:ISiD)
 代表者 : 代表取締役社長 釜井 節生
 本社 : 東京都港区港南 2-17-1
 U R L : <http://www.isid.co.jp>
 設立 : 1975 年
 資本金 : 81 億 8,050 万円
 連結従業員 : 2,635 名(2016 年 12 月末現在)
 連結売上高 : 79,783 百万円(2016 年 12 月期)
 事業内容 : 1975 年の設立当初から顧客企業のビジネスパートナーとして、コンサルティングからシステムの企画・設計・開発・運用・メンテナンスまで一貫したトータルソリューションを提供してきました。IT Solution Innovator をビジョンとし、金融機関向けソリューション、製品開発ソリューションをはじめ、グループ経営・連結会計、HCM(人材・人事給与就業)、ERP、マーケティング、クラウドサービスなど、幅広い分野で積極的な事業展開を図っております。

* 本リリースに記載された会社名・商品名は、それぞれ各社の商標または登録商標です。

【プロジェクトに関するお問い合わせ先】

株式会社電通国際情報サービス 2020 テクノロジー&ビジネス開発室 オープンイノベーションラボ 阿部、澤畑
 TEL: 03-6713-6098 E-Mail: info@innolab.jp

【本リリースに関するお問い合わせ先】

株式会社電通国際情報サービス コーポレートコミュニケーション室 李 TEL: 03-6713-6100 E-Mail: g-pr@isid.co.jp